

たずねてみたら

No.95

「加波山講」を語る

大和田作太郎さん
中町



▲梵天を持って家々を回る子どもたち

中町には子どもたちによる加波山講が伝えられています。町内、家内安全、嵐除けに靈験あらたかな加波山さまは、いつの頃始められたかは分かりませんが、年一回旧暦二月八日、十二月八日昔は若衆により執り行われたお祭りでありました。夕方当屋に集まり、梵天(ぼんてん)へ神酒、赤飯等を供え御神言(ごみことご)を唱え祈り、御神饌を戴いて四方山話をしたり月待ちのようなお祭りで夜更けに梵天を次の当屋に送るといってお祭りでありました。これが長く長く続きました。

宍戸盆地の中央、平町本町、橋爪着町に位置する中町は、江戸時代初期問屋場(運送、為替、飛脚)が置かれ町内床(髪結、理髪)も出来て大変繁昌しました。町内も家内も何事もなく、風水害も遠のき加波山さまに頼ることもなくなり、やがてこのお祭りは廃れました。

一番人気

自然観察会

小春日和の武蔵野を行く

歴史を知り、親睦も深まる

11月17日65歳以上の対象の「自然観察会」があった。参加者は抽選で選ばれた46人。埼玉県新座市野火止にある平林寺と所沢市にある所沢航空発祥記念公園を訪ねた。

平林寺(1375年創建)は約13万坪の境内を有する禅寺で、修行の専門道場を備えている。

総門から本堂まで一直線にある茅葺屋根の四棟(総門・山門・仏殿・中門)は重厚で精巧な造りだ。皆さん立ち止まって見入った。

本堂のある平林寺林泉境内は、修行道場のため拝観はできない。



▲平林寺境内のもみじ

参加者のみなさんは、似たような墓ばかりの中から、信綱夫妻の墓を見つけ手を合わせた。境内林の紅葉はまだ早い。マップと説明書を手にも、こもれ日の中をさらに歩いた。

所沢航空発祥記念公園は、日本で初めて出来た飛行場の跡地につくられた公園で、面積は約15万坪。公園内には、航空発祥記念館をはじめ日本庭園・野球場・ドックラン等様々な施設がある。

希望見学の記念館では、本物の航空機が多数展示され、搭乗可能なヘリコプターに多くの人が乗りめずらしそうに機内を見まわした。

公園内では、小春日和の午後、武蔵野の自然を満喫するようにのんびりと過ごす人もいた。

出し物に感動

上町で初めてのサロン

前日の大雪が残る寒い1月24日上町会館で高齢者対象の第19回「しじどサロン」が行われた。参加者は23人と社協関係者7人。上町の90歳代の方4人も元気な姿を見せてくれた。

新年おたのしみ配食

手渡してほんと安心

寒中とは思えない暖かい日となった1月18日新年おたのしみ配食が行われた。ひとり暮らしのお年寄り79人に新年お祝い弁当と女性部手づくり会の作った箱ティッシュカバーがこぶしの会によって届けられた。

当番の女性部3班(旧陣屋)は2日間に渡り、手の込んだ正月料理に腕をふるった。

まちづくり宍戸塾ホタルの里委員会が作ったもち米は、赤飯となつた。いろいろ栄養バランスもよい豪華なお弁当が出来あがった。

今回、1



▲豪華なお弁当と手作りの品



▲手渡して安心のこぶしの会

モニカ演奏とおはなしの会サルビア6人の朗読。創立10年になるせせらぎのレパトリーは100曲位あるという。ハーモニカの演奏でなつかしい小学唱歌を初め、昭和のメロディを大きな声で歌った。

おはなしの会サルビアの朗読はひとり5、6分であるが、その語り方は、美しく、聞く者の心をとらえた。会場は静まり参加者の皆さんは耳を傾け聞き入った。その中で会津のそば売り口上を披露した。「そば」の一生を面白おかしく話す様に参加者は大喜び大きな拍手を贈った。



▲ハーモニカ演奏で歌う

